

ふりがな 氏 名	まつむら さとし 松村 哲志		職 名	講師
取 得 学 位	修士(工学)	学会での受賞歴	日本建築学会教育賞(教育貢献)(令和4年5月30日)、日本建築家協会主催 建築家のあかりコンペ 最優秀賞(平成24年)	
主な担当科目	建築計画, 建築計画演習、住宅関連法規、都市計画、卒業研究			
所 属 学 会	日本建築学会(設計小委員会:令和4年4月～)、職業教育学会、 日本建築家協会(建築まちづくり委員会委員長:令和5年5月～)(学生デザイン実行委員会 委員長:平成29年～令和元年、WG 令和2年～)(建築街づくり会議:令和3年～)、日本建築まちづくり適正支援機構			

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
学校法人片柳学園 日本工学院専門学校 日本工学院テクノロジーカレッジ建築学科における教育実践	平成29年 4月～ 令和4年3 月	日本工学院専門学校 テクノロジーカレッジ 建築学科の専任教員として以下の科目を担当。 「卒業制作」「設計演習」「実務演習」「特別演習」など
JIA 東京都学生卒業設計コンクールの実施とアーカイブスの運営による教育活動	令和3年5 月～	日本建築家協会委員・WGとして卒業設計に関するコンクールの運営とアーカイブ化とその教材としての活用を通じて建築家教育に貢献する活動を実践
令和元年度・2年度 文部科学省委託事業「専門学校による地域産業中核的人材育成事業」 まちづくりファシリテーター養成講座での教材開発とその後の教育実践	令和元年4 月～	住民・市民と協働することができる人材育成を目的として専修学校で授業方法、教材などの開発実践を行う事業。 文部科学省から JCAABE が受託。実施副委員長。事業全体の中心として調査、教材開発、実証事業などを実施。 その後、全国の専門学校6校での教育実践をプロフェッショナル教育研究の一環として教育実践中。
令和4年度・5年度 文化庁 令和4年度文化遺産国際協力拠点交流事業 「カイロ旧市街の持続可能な保護策のための事業 / 住民参加のまちづくり」に関する講演、教育活動	令和4年3 月～令和 5年3月	世界遺産であるカイロ旧市街地においてリビングヘリテージとなって保護持続していくことを目的に住民参加・協同のまちづくりについて、日本とカイロの建築家・研究者・専門家、また住民が協同して取り組んでいく事業において、参加・協同手法の専門家として講義、実践。

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	建築系のためのまちづくり入門 ファシリテーション・不動産の知識とノウハウ 学芸出版社 ISBN 978-4-7615-2792-1	共	令和3年 9月25日	日本建築街づくり適正支援機構編 著者; 連健夫、野沢康、三井所清典、饗庭伸、松本昭、北村和利、山田俊之、今泉清太、仁多見透、松村哲志、阿部俊彦、高橋寿太郎、田中裕治、連勇太朗、渡邊研司、大倉宏、向田良文、市古太郎、湯浅剛、連ヨウスケ	協働によるまちづくり、建築設計の入門的教科書・建築史、都市計画、設計手法、法令、環境など幅広い視点から参加協働の設計について実践例とともに解説。本書の2-1 市民と協働するための「手助け」の態度 (Attitude) を担当 p90～p99
論文	1 建築系まちづくりファシリテーター養成講座の実践に関する試み -その現状把握・社会的要求・教育方法から実証講座での実践に向けて- (査読付)	共	令和2年 11月	日本建築学会 第20回建築教育シンポジウム建築教育論文報告集 p11～p16	松村哲志、連健夫、野沢康、市古太郎、渡邊研司、阿部俊彦
	2 東京都学生卒業設計コンクールの内容とアーカイブ化の現状と参加者による評価 —職能団体による建築家教育への貢献とその成果の体系的資料化に向けて—(査読付)	共	令和3年 11月	日本建築学会 第21回建築教育シンポジウム建築教育論文報告集 p17～p22	松村哲志、杉山英知、鈴木隆、石原智也、村山隆司
その他 (報告書)	1 令和元年度・2年度 文部科学省委託事業「専門学校による地域産業中核的人材育成事業」報告書	共	令和元年度・2年 3月		文部科学省から JCAABE が受託。副委員長として中心として調査、教材開発、実証事業などを実施。
	2 令和4年度・5年度 文化庁 令和4年度文化遺産国際協力拠点交流事業「カイロ旧市街の持続可能な保護策のための事業 / 住民参加のまちづくり」報告書	共	令和4年度・5年 3月		文化庁から JCAABE が受託。委員の一人として参加協働のまちづくりの手法論の講義、web をもちいた講義 WS の実践を担当し実践。